2024**年**5**月度の観察記録**

カテゴリ: 2024年

MD POSTEDON**投稿者**: Zz.admin 掲載日: 2024-5-12

2024年5月度の観察記録です。

```
Untitled Page .auto-style1 { text-align: right; } var gaJsHost = (("https:"
== document.location.protocol) ? "https://ssl." : "http://www.");
document.write(unescape("%3Cscript src='" + gaJsHost + "google-analytics.com/ga.js'
type='text/javascript'%3E%3C/script%3E")); var pageTracker =
_gat._getTracker("UA-3205823-1"); pageTracker._initData(); pageTracker._trackPageview();
```

2024年?5月?12日(日)9:30~12:00 作成:田畑恭子 監修:瀧川正子

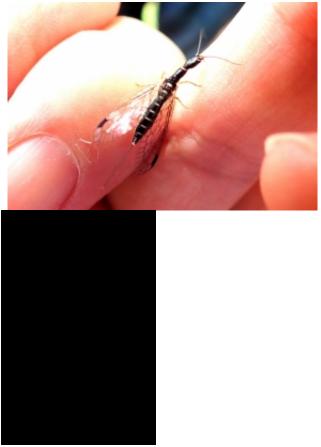
写真協力:伊藤義人氏

参加者:大人?20名,子ども?4名 天気:曇り 雨の降り始めは午後になるとの予報でしたが、開始時刻には雨が近いことを知らせる空模様になっていました。観察会が終わる頃にはポツリポツリと落ちてきましたが、幸い大きな影響はありませんでした。 出発前の里山の家で、1人の参加者がクスノキの花を紹介した朝刊の切り抜きを持参したのを見たので、実際の花を観察しに行きました。クスノキの花はちょうど満開で、その開花の様子に加えてちぎった葉の香りを確かめました。すぐそばではヨコヅナサシガメの成虫が歩いていました。同じ木にはキマダラカメムシも見つかりました。どちらも外来種のカメムシの仲間で、ヨコヅナサシガメは幼虫で、キマダラカメムシは成虫で越冬するそうです。





クスノキの花 ヨコヅナサシガメ キマダラカメムシ 続いてこの観察会ではおそらく初登場という昆虫がどこからか飛んで来ました。生きものに詳しい参加者から**ラクダムシ**と教えてもらいました。飛ぶ力がはあまり強くない様子で、ふわりと飛んでまたすぐ近くにとまりました。メスのようで長い産卵管を持っていました。ラクダムシは幼虫成虫ともに肉食性とのことでした。

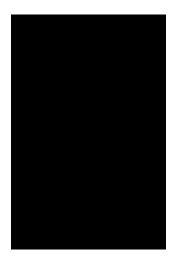


ラクダムシ **クワの実**がなり始めていましたが、菌に侵されたものを多く見ました。今年はあまりたくさん食べられないかもしれません。クワの葉には**クワキジラミ**が発生していました。これを食べるハラグロオオテントウの幼虫を探しましたが見つからず、その代わりに複数の葉の裏に**カメムシの仲間の卵**が産みつけられているのを発見しました。



クワの実 クワキジラミ カメムシの仲間の卵 **スイカズラ**が一斉に咲いていました。咲き始めの花は白く、のちに黄色く変化するそうです。この花の色からキンギンカと呼ばれるとのことでした。スイカズラにはニンドウ(忍冬)という別名もあり、寒い冬を枯れずに越すことからつけられたと言われているようです。





スイカズラ 中道を進み始めると、右手の木がすっかり元気をなくしてしおれているのに気づきました。この木は**オオウラジロノキ**と言って、以前は東山の森の北限近くに大木がありましたが枯れてしまい、苗木をこの場所に移植したものです。なぜしおれてしまったのかは不明で、その後調べているとのことです。

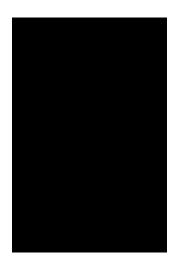


しおれたオオウラジロノキ **p造浴田の**も花をつけていて、葉の緑や赤とのコントラストで白い花がひときわ美しく見えました。また**ツツジの葉に黄色いシミのようなもの**が無数についていて、病気のようでもあり、植物に詳しい参加者も以前には見たことがなく何かわからないと話していました。一方開花間近と思われる**ネジキのつぼみ**が並ぶようについていて、間もなく可愛らしい花が見られるのが期待されました。



カナメモチ ツツジの病気? ネジキのつぼみ 夏になると青い実**が図位か**がですが、この日は花を観察しました。手に取って調べることは憚られたため遠目で確認しましたが、花は五弁のようでした。



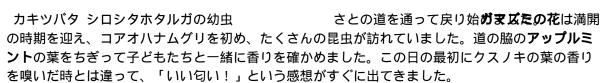


ヤマウルシの花 シュ畑ギはに花が咲いていました。花全体が黄色一色のものと、外側が白っぽいものとが混在していました。花びらをちぎって食べてみると、「甘い」という感想が聞かれました。ジャガイモの苗が植えられて育っていました。その葉は食痕だらけで、よく見るとニジュウヤホシテントウの幼虫や成虫が多数見つかりました。



シュンギクの花 ニジュウヤホシテントウの幼虫 湿地の方へ移動しまし**丸き 学紙を**がたくさん花を咲かせていましたが、相変わらずキショウブも近くで咲いていて、花の時期に駆除しないとわからなくなると話す参加者がいました。サワフタギの葉を探すと、今日の目的の一つであった**シロシタホタルガの幼虫**も無事見つかりました。













ムラサキカタバミ ザトウムシ ベニシダの種名の由来は胞子嚢が赤いことだと思っていましたが、若葉が赤いことからこの名がつけられたとのことでした。その若葉が勢いよく育っている場所で、参加者から「きれいだね」との声が上がりました。タラノキは2回羽状複葉で、葉にも幹にも鋭いトゲがありました。夏に花が咲くそうです。最後の振り返りの場所では足元にニワゼキショウやコメツプツメクサ、アメリカフウロなど、小さな花を咲かせる植物が一面に広がっていました。



ベニシダ タラノキ ニワゼキショウ この日は最初に「シロシタホタルガの幼虫を見に行く」というテーマを決めてスタートしたため、一ヶ所に止まりがちな観察の列に時々声かけをして進み、 普段は急ぎ足になる帰り道にさとの道を選んで余裕を持って戻ることができました。心配された雨 の降り出しも観察会が終わるのを待っていてくれたかのようで、ゆったりとした時間が流れました

平和公園での観察項目:クスノキの花と葉,ダンゴムシ,ヨコヅナサシガメ,キマダラカメムシ,ヒメホシカメムシ,四つ葉のクローバー,ラクダムシ,モリチャバネゴキブリ,ゴミムシの仲間,ノイバラ,マサキ,クワの実,カメムシの仲間の卵,ムラサキカタバミ,アヤメ,クワキジラミ,クワハムシ,ショウブの花,イボタノキ,セグロセキレイ,アメンボ,しおれたオオウラジロノキ,カナメモチ,アブの仲間,ツツジの病気?,ヤマコウバシ,オオスズメバチの女王蜂,ネジキのつぼみ,カメムシの幼虫,ワカバグモ,ミヤマガマズミ,ダイコンの実,レタス,イチゴの花,ヤマウルシの花,スイカズラ,シュンギクの花,ソシンロウバイの偽果,クヌギカメムシの幼虫,ニジュウヤホシテントウ,柳絮,ウバメガシ,ウメの実,カキツバタ,キショウブ,ワレモコウ,ナミテントウの蛹,シロシタホタルガの幼虫,ワラビ,ガマズミ,コアオハナムグリ,アップルミント,ドクダミ,チャノキ,チヂミザサ,カラスノエンドウ,スズメノエンドウ,イモカタバミ,ムラサキカタバミ,サラサウツギ,ニシキギ,ゴマダラチョウ,ザトウムシ,アオスジアゲハ,マメガキ,ナンキンハゼ,ベニシダ,タラノキ,ヨコバイの仲間,ツルニチニチソウ,オヤブジラミ,ヘビイチゴ,イタドリ,ナナホシテントウ,ニワゼキショウ,オオニワゼキショウ,コメツブツメクサ,ヤマグワ,ズミ,アメリカフウロ,アオサギ,ツバメ,ウグイスの声。

http://heiwakoen.sakura.ne.jp/sizen-kansatukai